

## ひろば大代

NO.205

大代公民館

第十一回「都市とふるさとを結ぶ

交流会」の開催について

大代高山会

来る八月十五日(木)左記の要領にて開催が決定しました。

- 一、受付開始 午後三時半～
  - 一、開会行事 午後四時～同二十分
  - 一、焼肉会 午後四時二十分～六時
  - 一、高山神楽公演 午後五時～八時
  - 一、納涼盆踊り大会午後八時～十一時
- 尚、焼き肉会参加の方は小学生以上一人五百円の「参加費」が必要です。多数ご参加下さいますようお願いしております。

戦時体験「青春譜」を読んで

八反田 三宅栄里子

私が戦争について書くなどおこがましいとは思いますが、しかし戦争は過去の事ではなく今もヨーロッパで、ア

ジアでと戦火の絶える事がなく、この事は世界中の人類の大きな責任なのだと思います。

最近インドネシアの青年が我家にホームステイした時の事です。彼は宗教上の理由で酒は一切飲みません。酒好きの夫はすかさず「日本人である私達は異教徒の君を許し、その心を受け入れている、君も国際人になる為には異なる文化を持つ人をもっと理解し、認めるべきだ。」と話しているのを聞いて、外国人同士がお互いの文化や習慣を認めようとしなない事から、紛争へ戦争へと発展するのではないかと感じたのです。

侵略戦争とは違う宗教戦争、民族紛争など単一民族である日本人には考えられない、もう一つの戦争があるので。ここで一番恐ろしいのは自分達と宗教や民族の違う人間を殺しても、それは罪ではないと教育される事です。教育とは恐ろしいものです。自分達が絶対に正しいと教えられる事の怖さがそこにあります。自分と違う人間を認める、受け入れる、これは日本人も苦手な所ではないかと思えます。戦争を

過去の事とせず、若い人達こそ学び、知る努力をすべきではと感じました。

そして戦争を体験された方々は若者に何を伝えて行くべきか、戦争の経過記録だけでなく戦争がいかに愚かで悲惨であるかを、もっともって伝えて欲しいのです。

市原館長さんも書いておられる様に政治家でさえ「でっちあげ」発言をし韓国に対しても「侵略でなく同意の上」だの「良い事もしている」だのと信じられない様な言葉が出て来ます。まだまだお互いに足りない所があるのだと思えます。

あの悲惨な戦争は何だったのか、自分なりにどう理解し消化しておられるのか、もう一歩つつ込んだ話が聞けたら、若い人の心をもっともって動かし、ていけるのではないかとも思うのです。アジアの人達は自らの子供達に日本人が何をしたかをしっかり教え、又伝えていきます。私達は知らないでは済まされないので。

私達日本人は過去アジアでは加害者だったのです。被害者意識だけを学ばない様になりたいと思えます。

「戦時体験青春譜を読んで」

下飯谷 下垣喜久恵

私達は戦争を知らない世代に生まれました。いろいろな体験を読ませて頂いて背筋がゾクツとしたり、胸がドキドキしたりしました。死と隣り合わせの生活や肉親の安否を気遣いながらの農作業等、緊張の極限の中で様々な事を考え、思われた事でしょう。現在の私達には本当に想像もつきません。忍耐、我慢という言葉さえ薄らいできた今日です。人の事より自分の事、自分本意の考えを強調し、他人の事には無関心、身の回りには物が溢れ、欲しい物はお金を出せば、いくらでも手に入る。こんな今の生活を自然のように思っている自分が情けなくなりました。戦後五十年というものの、テレビや新聞では未だに補償問題等取り沙汰されておられ、本当の意味での戦争は終わっていないと言います。また世界のどこかでまだ侵略戦争のような事も行われており、なぜ人間は、心を一つに出来ないのだろうかと考えさせられます。

私達は今の幸せに感謝し、そして世界中のみんなが平和に暮らせるよう小さな一歩からでも、協力できる心を持ちたいと思います。

俳句 あすなろ句会

下谷 尾崎三枝子

草刈って心地よき汗夕茜

厨事終りて庭の星月夜

下市 渡 あや子

傘と傘触れつつ雨の菖蒲園

菖蒲園百の彩もて競ひおり

柿田 横手いちえ

薄紅を水面に写し合歡の花

月見草家路を急ぐ子等の声

八反田 森 信子

月見草そよ風にゆれ通夜の道

見送らる夕辺の道に螢舞ふ

柿田 花田時子

万緑や身を沈めたる露天風呂

古へも今もかはらぬ星月夜

下市 今田文子

菖蒲園抹茶の席に歩を休め

月を待ち開く音して月見草

柿丸寿枝

風鈴や途絶えし話戻しけり  
狂いたる時計鳴り出す半夏生

「大江高山コミセン」の  
建設小委員会発足!



去る七月の連合自治会定例会に於て

「大代町ふれあいコミュニティセンタ

」(仮称大江高山コミセン)の建設

小委員に左記の方々が選出され、活動

を始めることが決まりました。敬称略

公民館長 市原仁郎

連合自治会長 高村 貢

// 副会長 縄手 和雄

// 副会長 曾根 巖

寿会会長 泉 朋納

婦人会会長 田辺 幸子

消防分団長 竹本 謙

大代地区社協会長 笹木 光夫

大代身障者協会会長 渡辺 寿雄

大代商工振興会会長 永井 吉一

民生児童委員総務 今田 文子

大代母子会会長 曾根 アサノ

大代小学校PTA会長 西本 一廣

大代幼稚園PTA会長 木村 幸司

事務局 横田 美恵子

大代婦人会福祉部の企画に

よる福祉サービス活動より

「ご馳走を頂いて」

八反田 松井シゲノ

七夕の日、八反田婦人会の皆さんが私達をお祝いしてあげると言われ、うれしく思いました。朝早くから仕事を済ませ十一時半、高村さんを誘って二人で集会所に行きました。もう料理が並べてありました。嬉しくて涙が出そうでした。

最近グラウンドゴルフをするようになってから身体も元気になりました。今では毎日健康に気をつけて頑張っています。後になりましたがとてもおいしく馳走ありがとうございました。これからも足元に気をつけて一日一日を大事にしていきたいと思えます。

「七夕のご招待」

八反田 高村トキヨ

七夕の日に八反田の婦人会の皆さんが、心のこもったご馳走を作って私達をお祝いして下さいました。

歌を歌ったり、七夕飾りを作ったりその前で写真も撮ってもらったり、又

花束までもらって本当に楽しい一日を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。

「大代地区駐在所連絡協議会」設立  
去る六月二十一日(金)当公民館にて表記の設立総会が開かれました。

大田警察より山根署長さん以下五名地元より各種団体長他が出席して会の目的を確認し、より一層の協力体制をとることになりました。

目的は大代町の安全と平穩を願う地域住民と駐在所が一体となり、相互の連携を密にして、自主防犯活動の推進各種事件事故の未然防止等を図る他、地域社会との良好的な関係を保持し、そして安全で住み良い大代町の実現を目指すものです。役員と会員は次の方々です。(敬称略)

会長	連合自治会会長	高村 貢
副会長	〃	副会長 繩手和雄
幹事	公民館長	市原仁郎
	連合自治会副会長	曾根 巖
	寿会会長	泉 朋納
	婦人会長	田辺幸子
	民生児童委員総務	今田文字

少年輔導委員 佐藤京子  
公民館主事 横田美恵子

「高山商工振興会」結成!

去る六月十九日(水)祖式公民館にて、大田商工会議所の会員(大代十名祖式五名)が集まり、「高山商工振興会」を結成しました。会員相互の親睦と繁栄を図り、地域の活性化を促すことを目的とするものです。



会長	金田建築
副会長	永井商店
会計	石原モーターズ
理事	ササダ直販、木村酒造
監事	大家農機、石原建築 市原酒店、清水酒造
***** ***** ***** ***** ***** *****	
* 八月行事予定 *	
◆ 1日(木)	ダイヤゾーンボール教室
◆ 2日(金)	大江高山コミセン会
◆ 4日(日)	ゲートボール大会
◆ 15日(木)	都市とふる里を結ぶ交流会
◆ 19日(月)	胃がん検診
◆ 22日(木)	連合自治会
◆ 29日(木)	ダイヤゾーンボール教室